

兵庫県のに漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 4号)

神戸市沿岸の東部域で小型珪藻のスケルトネマが優占して多く発生しています。窒素は神戸市地先で概ね2~3  $\mu\text{g-at/L}$ の値でした。それ以外の海域においては全般に珪藻は少なく、窒素は概ね2  $\mu\text{g-at/L}$ の値でした。

(水温) 神戸地先は10.4~10.9°Cで平均10.6°C。神戸沖ならびに東浦地先は平均10.7°C。いずれの海域においても平年と比較し約1.6°C高い。

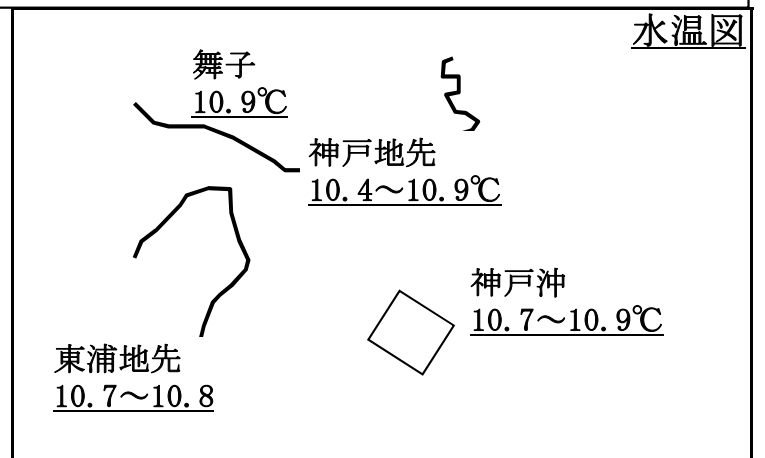
(塩分) 神戸地先: 31.61~32.29psu。神戸沖: 32.16~32.20psu。東浦地先: 32.22~32.27psu。

(栄養塩、珪藻) 神戸地先において、塩屋を境に東部域でスケルトネマによる赤潮(海水1mlあたり2000~2500細胞)が確認され、表層のリンの値がやや低い。西部域ではスケルトネマは海水1mlあたり50~500細胞と西に進むにつれて少ない状況であった。神戸沖および淡路東浦においては、スケルトネマの他コシノディスカスやタラシオシラが確認されるが珪藻の発生量は全般に少なく、窒素は一部を除き2  $\mu\text{g-at/L}$ 台、リンは0.2~0.3  $\mu\text{g-at/L}$ 台であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	11.7	10.6	9.0	7.4
	窒素	5.3	2.9	6.4	2.7
	リン	0.35	0.20	0.29	0.10
神戸沖	水温	11.9	10.7	8.9	7.6
	窒素	4.2	2.1	3.1	1.4
	リン	0.42	0.25	0.21	0.19
東浦地先	水温	12.0	10.7	9.1	7.8
	窒素	4.8	2.5	3.1	2.7
	リン	0.47	0.27	0.30	0.35

(1/21)

(2/20)



栄養塩 (窒素) 図

平成31年 2月21日調査

上げ潮 (明石海峡: 西流)

調査時間; 8:01~10:40

